



建設工事等におけるガスパ損傷事故防止について

令和8年9月28日

中部近畿産業保安監督部近畿支部

保安課

毎年ガスパ管を損傷する等の事故が発生しています！

建設工事等に起因する事故の原因としては、次のとおり、建設工事等事業者の確認ミスがそのほとんどを占めています。

- ① **ガスパ管の存在を知らず**に工事に着手した
- ② **目的の配管と誤って**ガスパ管を切断した
- ③ ガスパ管の**埋設位置を誤って**認識していた
- ④ **ガス臭に気付いたがそのまま作業**を続け、その後漏えいガスに着火させた
- ⑤ ガス事業者へ**事前照会**を行っていたものの、確認した内容を**現場作業員に伝えていなかった**

ガス事業者：都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。

建設工事等：ガス事業者以外の者が行う道路関係工事、土木関係工事、建築関係工事、解体関係工事、上下水道関係工事、その他の工事をいう。以下同じ。

必要に応じてガス事業者に連絡してください

Point 1

工事前にまず確認!

工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



Point 2

不明な場合は ガス事業者へ連絡!

ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point 3

情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。



⚠ 建設工事等事業者に対する注意喚起

- 工事に着手した建設工事等の前には、**ガス事業者に対し、埋設されたガス管の有無、その配置及び使用状況について照会する**とともに、必要に応じ、当該建設工事等にガス事業者の立合いを求めること。なお、液化石油ガスの供給区域であってもガス管が埋設されていることがあることから、LPガス事業者への確認を徹底すること
- ガス事業者**に照会して得られた情報は、現場の工事作業員全員に周知**を行い、適切な工事作業が行われるようにすること
- ガス管が埋設されている付近では、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること
- 需要家敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部の浅い箇所が存在する場合が多いため、特に注意すること
- 建設工事等の際、**ガス管又はガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者**
に連絡すること
- **ガスの臭いを感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者**
に連絡すること

建設工事等事業者による近畿管内の主なガスパ損傷事故（令和8年）

 **ガスパを損傷する等の事故が1回/月の頻度で発生しています！**

令和8年9月6日 時点

事故発生日	事故概要	発生箇所	事前照会
R8.1.20	・空家において、 他工事業者（解体工事業者） が埋設ガスパ（灯外内管）を重機により損壊し、ガスパ漏えいが発生。破損したガスパの搜索に難航したため特定製造所の供給を停止し 供給支障（248戸・245分） が発生した。	灯外内管	無し
R8.2.12	・一般業務用建物において、 他工事業者（改装工事業者） が改装工事中に灯内内管（亜鉛めっき鋼管）を破損し、ガスパが漏えい。これにより 入居者43名 が敷地内の屋外へ 避難（85分） した。	灯内内管	無し
R8.3.28	・解体工事現場の敷地内において、 他工事業者（解体工事業者） が重機にて支管を破損させ、ガスパが漏えい。これにより 周辺住民1名 が 避難（131分間） した。	支管	有り
R8.4.2	・一般集合住宅において、 他工事業者（解体工事業者） が、ガスパ事業者への連絡・照会無く工事を行い、電動工具にて作業中に灯外内管（白管）を破損し、ガスパが漏えい。これにより発生した火災によって、 他工事業者（重傷2名） が 負傷 した。物損（壁一部焼損）あり。	灯外内管	無し
R8.5.2	・一般業務用建物において、灯内内管（白管）の切断箇所からガスパが漏えい。 他工事業者（建築工事業者） が閉止済み分岐ガスパ栓の下流側にある灯内内管を切断し、更に当該分岐ガスパ栓を誤って開操作したことによるもの。これにより、 作業員（8名）及び当該建物に入居している従業員（4名） が 避難（70分間） し、 国道（南北道路歩道 幅員4.0m×延長43.0m）の交通規制（70分間） が実施された。	灯内内管	無し
R8.7.14	・整地工事現場の敷地内において、 他工事業者（整地工事業者） が重機にて不使用の灯外内管（塩化ビニルライニング鋼管）を破損させ、ガスパが漏えい。これにより周辺市道の交通規制が実施されるとともに、 近隣住民11名 が 避難（39分間） した。	灯外内管	無し
R8.7.18	・解体工事現場の敷地内において、 他工事業者（解体工事業者） が重機にて灯外内管（ポリエチレン管）を破損させ、ガスパが漏えい。これにより特定製造所の供給を停止したため 供給支障（191戸） が発生し、周辺町道の交通規制が実施されるとともに、 近隣住民23名 が 避難（241分間） した。	灯外内管	無し
R8.8.19	・建設工事現場の敷地内において、 他工事業者（建設工事業者） が重機にて不使用灯外内管（ポリエチレンライニング鋼管）の継手部を破損させ、ガスパが漏えい。これにより 県道（東西道路 幅員8.5m×延長65.0m）の交通規制（15分間） が実施された。	灯外内管	無し

参考情報：大阪ガスネットワーク 工事照会WEB受付

大阪ガスネットワーク

工事関係者のみなさまへ

工事照会にご協力をお願いします



「軽微な工事だから」「少ししか掘らないから」という理由で
施工通知を提出せずに工事を行っていませんか？
ガス管はあなたの予期せぬ場所に埋設されているかもしれません。
誤って**ガス管**を破損してしまう前に、工事照会を行いガス管の位置をご確認下さい。

Web上で工事照会ができるようになりました

- ①いつでも

移動も待ち時間もナシ!!
工事照会にかかる時間を
大幅に短縮できます
- ②どこでも

ご自宅や外出先からでも
工事照会が可能です
- ③簡単に

Web上で手軽に
工事照会・回答内容が
確認できます

大阪ガスネットワーク 工事照会 

※スマートフォンでの工事照会には対応しておりません。

大阪ガスネットワーク ウェブサイト：
<https://network.osakagas.co.jp/procedures/construction.html>

注）液化石油ガスの供給区域であってもガス管が埋設されていることがあることから、LPガス事業者への確認についても徹底をお願いします。